



不動堂の両堂

からたくさん集って奉納した。庭にはみせもの、からくり、かけ店などがたち、おひち、お日市にふさわしく、近郷の人々が集った市日を兼ねた大祭礼になっていた。

この不動堂の来由は「座像古仏なり」とあるだけでよくわからない。文化六年の風土記には「不動長一尺八寸」とある。現在二体並んで祭つてあるが、正面のは御丈五九センチで、文化六年の風土記にみえるものかと思うが、古仏なりといったものは焼失して、後に変つたものか、新しく塗り直してあるので、時代考証は容易でない。側に塗り直さない御

丈六六センチのや
や正面本
尊より大
き目のも

のがある。

しかしこの信仰はおひちの盛んであったことでも厚かったことがわかるし、現在も本堂、こもり堂の劔、手まりなどの多いこと、規模の大きいことでもわかる。



不動尊の両堂